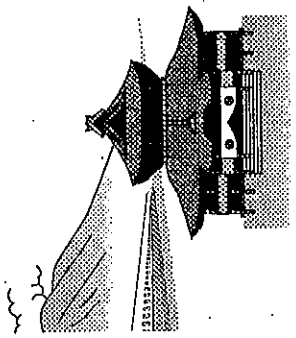


比信



特養ホームのお年寄りがエキストラを務めた映画「おまぢやれ」のロケ＝長野市の「やすらぎの園」

長野舞台の映画「おまぢやれ」

お年寄りら力演ケ 特養ホームロケ

やすらぎの園

長野市を舞台に撮影が
進んでいる映画「おまぢ
やれ」泣かないでマント
リン(根本銀二監督)
のロケが六日、同市篠ノ

井の特別養護老人ホーム
「やすらぎの園」で行わ
れ、入所者がエキストラ
出演した。いじめに遭っ
た少女が老人ホームでの

介護ボランティアを通し
て成長していくという
大切なシーン。お年寄り
たちは自然体で臨んだ。



同園には要介護の九十
人が暮らしていて、撮影
には十五人ほどが参加。
午前八時前からスタート
したロケでは、主人公・
亜由美役の高野恵さん
(信大付属長野中三年)

が、夏休みのボランティ
ア実習で老人ホームを訪
れ、車いすの介助や配せ
ん、食事介助などをする
シーンを撮った。

お年寄りたちは「入所
者」役で出演。一シーン
に二時間近くかかるなど
撮影時間は長く、リスト
に照らされ蒸し暑い室内
で何度も汗を流しなが
ら演技を繰り返した。車
いすで出演した笠原シヤ子
さん(三)は「映画に出るの
は初めて。すごく緊張し
て何も覚えていないけど」

画をぜひ見たい」。リ
フト車から降りたり、女
優鈴木光枝さんを介助す
る主人公の後ろ姿を通り過
ぎるシーンに挑戦した。

プロデューサーの岡野
和夫さんは、幾つかの特
養ホームを見て回った上
で「雰囲気や合っている
協力態勢も整っている」
と同園でのロケを決

定。「本当の入所者が出
てくれることで興行性が
出た」とお年寄りたちの
演技を絶賛していた。
映画は十一月公開の予
定。